

伊賀市立桃青の丘幼稚園だより

～多様な主体性を涵養する教育～

あさがお



今月は、雪の降る日もあったり、気温があがったりする日など、いろいろな自然現象の中で楽しい経験をしました。

子どもたちは、園庭が雪で真っ白になった日は、「わあ、まっしろけ!」「何かまぶしい!」「雪だるまつくれるかも。」など、自然に興味・関心をもって冬ならではの遊びを展開しました。

また、3学期に入ってから学級の団結力も高まり、子ども会議を続けながら表現活動に取り組みました。子どもたち、そして先生たちのアイデアで創した表現活動の様子を参観に来ていただきました。

マニフェスト【学力】主体性をもち「遊び・生活・活動」を進めていく子ども
～心が動く直接体験ができるように環境を整える～



園生活初めての雪遊び【3歳児】

3歳児は、積もった雪を発見して、ハウスの中でごちそう作りを楽しんでいます。窓から見える姿を周りの友だちが見て、「何してるの?」と他者とのかわりにつながる会話が生まれます。この1年で語彙数も増えて、友だちや先生とさまざまな言葉のやりとりができるようになりました。身近にいる大人は、子どもの言葉のモデルになります。子どもたちに掛ける言葉掛けは、魔法の言葉です。それぞれの成長に繋がる言葉掛けを心掛けたいと思います。



気のあう仲間と一緒に進める
【4歳児】

4歳児は、雪の日に、朝の身支度を済ませてすぐに園庭に出ました。毎日の体づくりの積み重ねで寒さにも耐えられるようになり、冬でも健康です。朝、他学年の保育室前に積もっている雪を発見しました。気のあう友だちと一緒に、「この雪さらさらだね。」「まるまるかなあ。まるくできたら雪だるまがつくれるかも。」「やってみようよ。」と冬の自然現象に不思議さを感じながら雪だるまづくりが始まりました。友だちと冬の自然に親しみ、進んで遊ぶ様子が見られます。



自然の不思議さに気づき工夫する【5歳児】

5歳児は、朝一番に走って園庭に入り、雪の上についた足跡を見つけて楽しんでいました。年長さんは、視野も広く、自然の不思議さに気づく力もあります。さすがだと思いました。気のあう仲間と一緒に、雪をまるめて雪合戦が始まりました。普段の体づくりで思いっきりドッジボールを楽しんでいる成果もあって、投げる動作も習得しつつあります。なかなかのスピード感とダイナミックな雪遊びを展開しました。私たちも子どもたちの仲間に入って遊びます。教師も思いっきり遊び、同じ仲間の一員としてかわりをもつように心掛けています。

マニフェスト【キャリア】自分の目標をもち自己実現する子ども
 ～大人も子どもも楽しめる表現活動 一人一人が輝くわいわいフェスティバル～

1年間で培ってきた力を「わいわいフェスティバル」(生活発表会)で発揮しました。絵本に親しみをもちイメージを広げる、自分の思いを動作や言葉で伝える、人と気持ちを合わせる、自分の役割をやり遂げる、遊びに必要な道具を制作するなど、さまざまな取り組みのねらいと工夫した要素がありました。何より、子どもたちのアイデアが入った表現活動になり、当日は、参観日という普段とはちがった環境の中で、一人一人がベストを尽くし、活躍していた姿はいうまでもありません。また、一人一人が輝けるように事前準備をしたり、後押しをしたりしたチーム桃青の先生、そしてPTA本部様も力をかしてくださいました。子どもたちが心身ともに健康で活動できたのもみなさまのおかげです。保護者のみなさま、ありがとうございました。



自分たちでつくってきた活動にベストを尽くす【全園児】

異年齢で発表会の余韻を楽しむ



身近にいる大人の姿は
 子どものモデルとなる

教師は、いつも表現者であることが大切だと思っています。私自身、各クラスの取り組みの仲間に入り、子どもたちと同じ目線で活動してきました。登場人物の気持ちはどうだろう、子ども自身の心持ちはどうだろうかと、想像を巡らせ一緒に演じ、表現者の一人として活動しました。常日頃からいくら忙しくても子どもと同じ目線にたってみること、子どもと一緒につくっていく過程を大事にすること、いつも自分の心の中で大切にしています。何より私は、子どもたちの心の成長がうれしかったです。子どもたちの堂々として自信に満ちていた姿は、とても素敵でした。よくがんばったね。



マニフェスト【キャリア】日々の運動を通し、基本的な生活習慣の確立をする
 ～思わず体を動かしたくなるような環境づくり 憧れの気持ちを育み他者との関係性をつくる～

毎日のにんにんタイム(体そだて)がさらに楽しくなるように工夫をしています。伊賀市忍者月間において、園児が忍者になりきって運動遊びを楽しんでいます。まずは、年長組が取り組んでみました。他学年の子どもたちは、さらに年長組に憧れの気持ちを抱きました。「自分たちもしてみたい!」「忍者かっこいいね。」というつぶやきも見られました。この意欲が取り組むチャンスです。年長さんのようになってみたいと思う向上心も成長していく過程において重要なポイントです。このように教育的配慮は、子どもの意欲・興味・関心を高めるために必ず必要なかわりになります。

「山を越え、谷を越え、川を渡り伊賀上野城を目指すのじゃ!？」



手裏剣の修行

～2月あさがおイラスト ゆりのさん・はるきさん～

文責 まつなが あい